

下記の日時、会場で4グループに分かれて実技試験を行います。

試験日:1日目 平成16年10月25日(月)、2日目 26日(火)

試験時間:午前 8:45～13:00、午後 12:45～17:00

集合場所:九大病院 西病棟4F 大学院講義室2(OSCE センターではない)

オリエンテーションの後、受験者は OSCE センター(旧病院中央4F 病棟奥)に移動して、1人ずつ、医療面接、カルテ記載、頭頸部、胸部、腹部、神経、外科、救急の各試験室(ステーション)を一定時間ごとに移動し、指示される問題について患者役あるいは人形を対象に実技を行い、評価者が観察評価を行います。

持ってくるもの

白衣、名札、男性はネクタイ着用、聴診器、筆記具(アンケート記入のため)。

白衣は、試験中(寒い)廊下で待機することがあるので長袖のものがよいでしょう。

注意事項

- 試験開始前にトイレをすませておくこと。
- 患者役について
 - 試験が終了した受験者は、次グループの試験で医療面接以外での患者役となります。従って1日目の最後のグループは、2日目の午前中前半の患者役として出席してください。無断欠席は追試験の受験資格がなくなります。やむを得ず欠席する場合は必ず連絡してください(事前:医療系統合教育研究センター092-642-6186、当日:090-7160-8090)。
 - 女子学生は頭頸部と外科ステーションで患者役か介助者を行います。男子学生は他のステーションで患者役を行います。服を着替える場合がありますので、必ず前日に入浴しておいてください。当日、結膜炎や感冒などにかかっている場合は試験開始前に申し出てください。
 - 各試技の前に手をウエルパス(速乾性アルコール)で消毒してください。
 - 医療面接では、受験者が習った手順と技法で行えば、面接が円滑に進み情報も得られるように患者役が演じます。したがって、模擬患者の演技は実際の患者さんの行動とは幾分異なることもあります。
- 試験中(オリエンテーションと振り返りを含む)、携帯電話などの通信機器は預かります。試験中の通信が発覚した場合は即刻不合格となり、再試験の受験資格もありません。

- ステーションでの試技時間は5または10分、フィードバックは1分、移動・準備時間は2分の予定です。
- 接し方や声かけ、その他の患者さんへの配慮なども評価します。
- 視診の場合は、診察項目・診察部位と得られた個々の所見を具体的に述べながら診察すること。例えば「視診では〇〇、□□などは認めないが、△△に××を認める」などと述べてください。他の診察では、課題シートの指示に従って口述してください。
- 共用試験 OSCE 最終トライアルに参加するために、全国共通の課題と評価項目を使用します。昨年度とは必ずしも同一ではありませんので、誤解を避けるためにここでは示しません。
- 診察道具は聴診器を除いて各ステーションに準備してあります。胸部および腹部のステーションでは受験者が聴いている音を試験管も同時に聴くことができるワイヤレス聴診器を使用します。
- 試験結果は掲示板または臨床医学実習のオリエンテーションにてお知らせします。
- 追試験および再試験
 - 追試験および再試験は平成17年1月に行います。日程は掲示板にてお知らせします。
- 6年次学外病院クリニカルクラークシップの資格
 - 平成12年度の試験より客観的臨床能力試験の本試験を合格することが学外病院クリニカルクラークシップへの派遣(4週間)を許可される条件の一つとなっています。本試験の不合格者は許可されませんのでご注意ください。